

空は煌々としたオレンジ色の灯りで照らされ、健命寺の隣に位置する湯澤神社では毎年恒例の燈籠祭りが9月8日、9日に開催される。地元の人々によればこの祭りの起源は江戸中期（1603-1868）までさかのぼるとされており、一年で最も楽しみにされている宗教的な行事のひとつである。しかし、この祭りに初めて参加する者は少しばかり奇妙に思うことだろう。と言うのも、この大がかりな2日間のイベントは42歳の男性たちのみが指揮を取り、年齢が25歳または60歳の者は厄年として参加する。野沢温泉に暮らす40歳～42歳の男性のみで構成される執行部はまとめて「三夜講」と呼ばれているが、彼らが全ての準備を取り仕切っている。また「猿田彦（日本神話に登場する神）の舞」や「獅子舞」、「三十六歌仙（すぐれた歌人）舞」などの神事踊りは舞楽、雅楽、舞踊の保存に取り組む湯澤神社舞楽保存会によって行われる。